

研究紀要

第37号 令和6年3月

研究紀要

Journal of The Institute of Religion and Culture

New Series No.37 March, 2024

第37号 (令和六年三月)

京都女子大学宗教・文化研究所

目次

| | | |
|------------------------------------|----------------|-----|
| 【論文】 | | |
| 伊豆北条氏と「牧の方」再論 | 野口 実 | 1 |
| 九條武子の女子教育に関する思想と実践に関する研究 | 南野佳代 手嶋昭子 西 義人 | 1 |
| 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 影響下における | | |
| 学生のメンタルヘルス問題 | 濱崎 由紀子 | 25 |
| 京都市方言における形容詞重複表現について | 谷 光 生 | 43 |
| 【事例研究】 | | |
| 首都圏の人口急増地域と山間地域の自治体における | | |
| 樹木葬墓地の成立について | 横村 久子 | 67 |
| 単身化社会における個々の死 (終活) にかかる | | |
| 行政サービスの現状と課題 | 横村 久子 | 89 |
| 【実践報告】 | | |
| 仏教讃歌にみる学びと創造の教育 | | |
| —仏教讃歌を演奏することで学ぶ— | ガハブカ 奈美 | 113 |
| 【翻刻・翻訳】 | | |
| TS『真実集成』(寂護)・TSP『真実集成釈』(蓮華戒) | 秋 本 勝 | 137 |
| 藤島宗順『安永六年稽古百首詠藻案』解題と翻刻 | | |
| 大谷俊太 山中延之 加藤弓枝 大山和哉 藤原静香 | | 33 |
| 【史料紹介】 | | |
| 新発見史料・京都高等女学校『校友会報』の複製・総目次の | | |
| 作成とその公開 | | |
| —京都高等女学校の設立と学科の変遷、『校友会報』の誌面構成について— | 坂口 満 宏 | 167 |
| 【令和4年度 仏教文化公開講座講演録要旨】 | | |
| 親鸞聖人と比叡山大乗院 | 浅田 正 博 | 73 |
| 【令和4年度 宗教・文化研究所公開講座講演録要旨】 | | |
| 後醍醐天皇、討幕への道 | 坂口 太 郎 | 117 |
| 北条義時と京都・鎌倉 | 山 本 みなみ | 143 |

CONTENTS

| | | |
|---|---|-----|
| Articles | | |
| Re-discussion on the Hojo clan of Izu and “Maki no Kata” | Minoru NOGUCHI | 1 |
| Research on thoughts and practices regarding Women’s education of | | |
| KUJO Takeko | Akiko TEJIMA Yoshindo NISHI Kayo MINAMINO | 1 |
| Mental Health Issues of Students under the Impact of the | | |
| COVID-19 Pandemic | Yukiko HAMASAKI | 25 |
| On Adjective Reduplication in Kyoto Japanese | Mitsuo TANI | 43 |
| Case Studies | | |
| A Case Study on the Construction of municipal Wood land Burials | | |
| at an increase in Population area & a hill Town area in Metropolitan Region | | |
| ~Two Case of Saitama City & Ogose Town in Saitama Pref.~ | | |
| | Hisako MAKIMURA | 67 |
| A Case Study on the present Conditions and Problems of administrative | | |
| Services for one’s latter End in Single Life Society | Hisako MAKIMURA | 89 |
| Practical Reports | | |
| The Education of Learning and Creativity in Buddhist Hymns : | | |
| Learning through Performing Buddhist Hymns | Nami GAHABKA | 113 |
| Transcriptions / Translations | | |
| A Japanese Translation of the first half of the Traikālyaparīkṣā ch. 21 | | |
| in <i>Tattvasaṃgrahaḥaṇḍjīkā</i> | Masaru AKIMOTO | 137 |
| An Analysis and Reproduction of <i>Fujishima Munenobu’s Draft of</i> | | |
| <i>Hundred-Poem Sequence for Practice Transcribed in 1777</i> | | |
| Shunta OTANI Nobuyuki YAMANAKA Yumie KATO Kazuya OYAMA Shizuka FUJIWARA | | 33 |
| Introduction of Historical Materials | | |
| Discovery of Historical Documents Related to Kyoto Koto Jogakko | | |
| (“Kyoto Girls’ High School”) and its Alumnae Magazines : | | |
| A commentary on the reprinted edition | Mitsuhiro SAKAGUCHI | 167 |
| Public Lectures | | |
| Shinran Shonin and Daijo-in Temple on Mt. Hiei | Masahiro ASADA | 73 |
| Emperor Go-daigo’s road to defeat the shogunate | Taro SAKAGUCHI | 117 |
| Hojo Yoshitoki and Kyoto/Kamakura | Minami YAMAMOTO | 143 |

令和4年度事業報告

1 研究助成

I 「仏教文化及び宗教文化に関する研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

① 「仏教讃歌にみる学びと創造の教育―仏教讃歌を演奏すること学ぶ―」

兼任研究員 ガハブカ 奈美

〈共同研究〉

① 「蘆庵文庫所蔵藤島宗順日記の調査と研究」

研究代表者・兼任研究員 大谷 俊太

研究分担者・兼任研究員 山中 延之

II 「人文・社会・自然の各分野における研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

① 「新発見史料・京都高等女学校『校友会報』の複製・

総目次の作成とその公開」

兼任研究員 坂口 満宏

② 「くらしの京ことば―口語京都方言における形容詞

重複表現について―」

兼任研究員 谷 光生

③ 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 影響下

における学生のメンタルヘルス問題」

兼任研究員 濱崎 由紀子

〈共同研究〉

① 「九條武子の女子教育に関する思想と実践に関する研究」

研究代表者・兼任研究員 手嶋 昭子

研究分担者・兼任研究員 南野 佳代

西 義人

2 公開講座

仏教文化公開講座

日時 令和4年10月22日(土)

午後1時～2時45分

場所 京都女子大学 B校舎5階501教室

講題 「親鸞聖人と比叡山大乗院」

講師 本願寺派勸学、龍谷大学名誉教授、博士

(文学)

浅田 正博

宗教・文化研究所公開講座

I 日時 令和4年6月18日(土)

午後1時～5時

場所 京都女子大学 C校舎5階501教室

講題 「後醍醐天皇、討幕への道」

講師 高野山大学文学部人間学科学准教授

坂口 太郎

講題 「北条義時と鎌倉・京都」

講師 鎌倉歴史文化交流館学芸員、青山学院大

学非常勤講師 山本 みなみ

II 日時 令和4年9月17日(土)

午後1時～4時15分

場所 京都女子大学 B校舎5階501教室
講題 「北魏仏教と曇鸞」

講師 龍谷大学准教授 内田 准心

講題 「本願寺の草創と他力信心の教え」

講師 浄土真宗本願寺派総合研究所上級研究員

塚本 一真

本学非常勤講師

3 研究紀要「第36号」

研究発表

鎌倉幕府の成立と坂東武士の官職

野口 実

称友『俱舎論明義釈』「三世実有」(和訳)SA

秋本 勝

498, 24-477, 26

地方小都市における合葬墓設立の潮流と合葬墓移

行型墓所の新システム～北海道東神楽町と旭川市、

石川県内灘町等と金沢市の2都市圏を事例として

榎村 久子

コロナ禍における自然体験活動の取り組み

小・中学校9年間を見通した「命と自己の生き方

を見つめる教育」に向けた国語科の系統的な指導

に関する研究 水戸部 修治

4

〈令和三年度仏教文化公開講座講演録要旨〉

生死出づべき道を求めて

満井秀城

研究所だより

第75号（7月発行）

第76号（2月発行）第37回懸賞論文発表

屋外喫煙所周囲の環境タバコ煙 (ETS) における
空気中ニコチン量の検討
中村亜紀
宮脇尚志

学部学生の男女比からみた教育・研究費の偏りと
その影響
辻雅弘
粟屋美絵

日本における外国人労働者をめぐる法政策の展開
と課題―労働市場に及ぼす影響と人権保障の視点
から―
烏蘭格日樂

学校清掃と生徒指導―「無言清掃」を実践する中
学校3校への訪問調査から―
表真美

5 懸賞論文募集

テーマ

（京都女子大学学生及び京都女子大学大学院生）

親鸞の思想、仏教思想や宗教思想等あるいは
現代社会の直面しているさまざまな問題につい
て、宗教の視点も加えて論評したもの。たとえ
ば性差別や生命倫理の問題、地球環境、国際関
係、ITの普及、少年犯罪やカルト宗教をめぐ
る問題などに関するもの。題は自由。また、エッ
セイの形式でも可。

（京都女子高等学校生徒）

1 私と宗教

2 積尊に学ぶもの

3 親鸞聖人に学ぶもの

題は自由につけてください。

（京都女子中学校生徒）

1 私と宗教

2 おしゃかさまと私

3 親鸞さまと私

題は自由につけてください。

（京都女子大学附属小学校児童）

「ほとけさまのこと」「おしゃかさまのこと」

「しんらんさまのこと」について書いてください。
い。題は自由につけてください。

(京都幼稚園年長組園児)

みほとけさまの絵

令和四(二〇二二)年度報告

応募数 593編

大学・大学院生

高校生

中学生

小学生

幼稚園児

入選者 69編

大学・大学院生の部

秀作

努力賞

高校生の部

優秀作

秀作

佳作

中学生の部

優秀作

秀作

5編

73編

25編

458編

32編

2編

1編

2編

2編

6編

4編

2編

6

宗教・文化研究所ゼミナール活動

佳作

小学生の部

金賞

銀賞

幼稚園の部

入賞

3編

14編

27編

6編

平成十二年(二〇〇〇年)度より「中世前期の社会と文化」をテーマに掲げ、宗教・文化研究所教授野口実を指導助言者として、本学のみならず関西圏の大学に在籍する若手研究者(大学非常勤講師など)・大学院生・学部生、および、本学卒業生を含む一般社会人(中学・高校教員など)が参加して史料講読会などの活動がなされてきた。しかし、野口教授の定年退職(その後、客員研究員・本学名誉教授)にともなって新規に参加する学生が少なくなり、さらにコロナ禍によって対面での活動が不可能となったため、それ以降はSNSによるメンバー間の情報交換とゼミ機関誌『紫苑』刊行に関する連絡程度の活動しかなされな

かった。そのため、令和四年（二〇二三年）度末をもって活動を休止するにいたった。

ル活動の詳細については、これらも参照されたい。

①機関誌『紫苑』の刊行

指導助言者の定年退職に伴って十四号でいったん終刊とした機関誌『紫苑』を、平成二十九年より学部生の研究ノートなどによって構成する形で復活させたが、今回発行する二十号をもって確実に終刊とすることとなった。最終号には古参メンバーによる論文のほか、終刊に寄せる卒業生などからの思いも寄せられた。

②活動の成果

本ゼミナールは学問・研究に意欲的な他大学の院生・学部生、さらには一般市民にも門戸を開いてきた。その結果、所属大学や地域の枠をこえた、他に類例の見られないような活発な交流が行われ、現在、日本史・日本文学に関係する分野で活躍している研究者や教育者などを多数輩出する結果を生んだ。また、Facebookページ（宗教・文化研究所ゼミナール）やHPによって、社会に向けて活動の紹介を積極的に行ったことも特記されるべきことであろう。ゼミナ-

7 その他

資料サービス

図書・視聴覚資料の貸出

編集後記

◇ここに『研究紀要』第三十七号を発刊する運びとなりました。ご協力いただいた先生方には、心より御礼申し上げます。今回も各先生方から、多岐にわたる研究分野の成果を寄稿いただき、深く感謝いたします。

◇令和四年度の宗教・文化研究所公開講座は「京都の朝廷と鎌倉の幕府」というテーマのもと、第Ⅰ部は、高野山大学文学部人間学科准教授の坂口太郎先生に「後醍醐天皇、討幕への道」と題してご講演をいただきました。また、引き続き第Ⅱ部では、鎌倉歴史文化交流館学芸員の山本みなみ先生に「北条義時と鎌倉・京都」と題してご講演をいただきました。

◇令和四年度の仏教文化公開講座では、浄土真宗本願寺派勧学、龍谷大学名誉教授・博士（文学）の浅田正博先生に「親鸞聖人と比叡山大乗院」と題してご講話をいただきました。

◇今後ともより多くの先生方に「仏教文化を中心に、広く宗教と文化に関する研究を推進し、もって学術の発展に寄与することを目的とする」という当研究所設置の趣旨をご理解いただき、多くの研究申請が出されるよう努めていきたいと考えています。

「研究紀要」第三十七号

令和六年三月十四日 印刷

令和六年三月二十二日 発行

京都女子大学

宗教・文化研究所

所長 黒田 義道

〒616-8501 京都市東山区今熊野北日吉町三五

電話 〇七五(五三二)七〇七四(直通)

印刷所 株式会社 同朋舎

〒616-8507 京都市中京区西ノ京馬代町六一二六